

2025 年 6 月 20 日

関 係 各 位

マネックス証券株式会社

「MONEX 個人投資家サーベイ 2025 年 6 月調査」

～2025 年 4 月のマーケット変動や直近の物価上昇を受けた投資状況等について～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役社長執行役員：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、2025 年 6 月 5 日から 6 月 9 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケート調査（回答数 1,007 件）を実施しました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観や NISA の利用状況に加え、特集として「2025 年 4 月のマーケット変動や直近の物価上昇を受けた投資状況」「アクティビストの認知度やイメージ」等についても調査しました。

<調査結果概要>

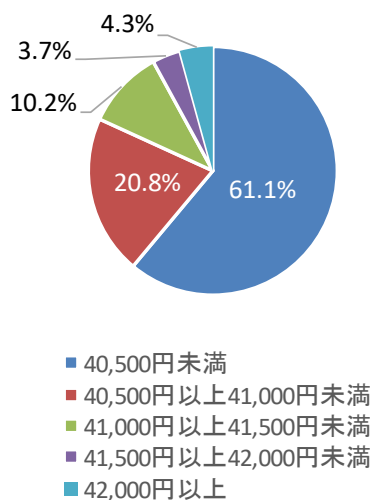
1. 2024 年日経平均株価およびダウ平均株価の高値・安値予想

個人投資家の相場観の調査として、2025 年の日経平均株価およびダウ平均株価の高値・安値予想を調査しました。

（1-1）2025 年の日経平均株価の高値予想は「40,500 円未満」が最多、安値予想は「30,500 円以上」が最多

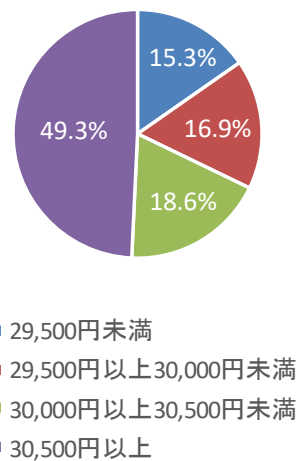
【参考 年初来高値：40,288.80 円 年初来安値：30,792.74 円】

グラフ1-1: 2025年日経平均株価高値予想



（出所）マネックス証券作成

グラフ1-2: 2025年日経平均株価安値予想



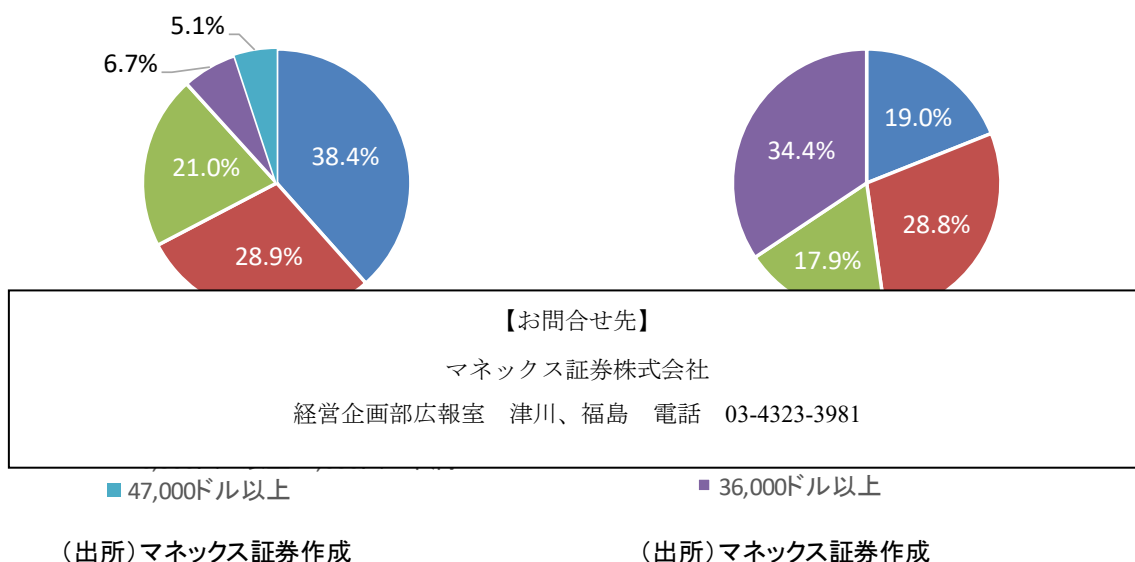
（出所）マネックス証券作成

(1-2) 2025 年のダウ平均株価の高値予想は「45,500 ドル未満」が最多、安値予想は「36,000 ドル以上」が最多

【参考】 年初来高値：45,054.36 ドル 年初来安値：36,611.78 ドル】

グラフ1-3: 2025年ダウ平均株価高値予想

グラフ1-4: 2025年ダウ平均株価安値予想



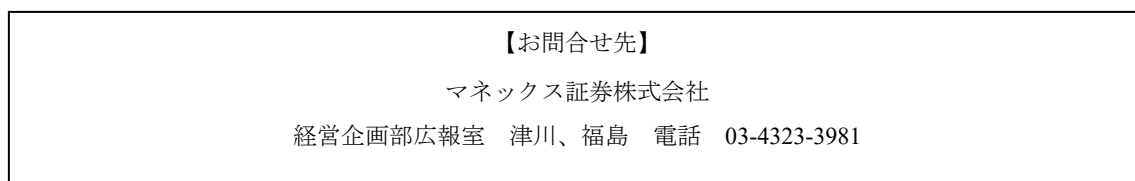
2025 年の日経平均株価の高値予想は「40,500 円未満」と回答した方の割合が 61.1%と最も多く、続いて「40,500 円以上 41,000 円未満」が 20.8%となっています。安値予想は「30,500 円以上」と回答した方の割合が 49.3%で最多となりました。調査時点での年初来安値は 30,792.74 円であり、それを超える下落はないとの見方が多いようです。

ダウ平均株価の高値予想は「45,500 ドル未満」と回答した方の割合が 38.4%と最も多く、続いて「45,500 ドル以上 46,000 ドル未満」が 28.9%となっています。安値予想は「36,000 ドル以上」と回答した方の割合が 34.4%で最多、続いて「35,000 ドル以上 35,500 ドル未満」が 28.8%となりました。調査時点での年初来安値は 36,611.78 ドルであり、それを超える下落はないとの見方が多いようです。

2. 2025 年 4 月のマーケット急落を受けた投資状況について

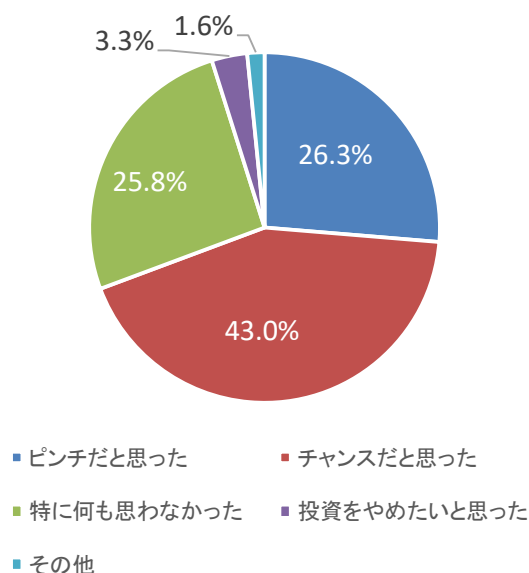
直近のマーケットは米トランプ大統領の発言や政策に左右される状況が続いており、特に今年 4 月の「トランプ関税」の発動は 2024 年 8 月以来の世界同時株安をもたらしました。前回の急落から 1 年も経たずに再び急落したマーケットに対し、個人投資家がどのように感じ、どのような投資行動を起こしたかを調査しました。

なお、2024 年 9 月の個人投資家サーベイで同年 8 月のマーケット急落を受けた投資状況の調査を行っており、その結果との比較も行いました。



(2-1) 2025 年 4 月のマーケット急落を受けた率直な心情について

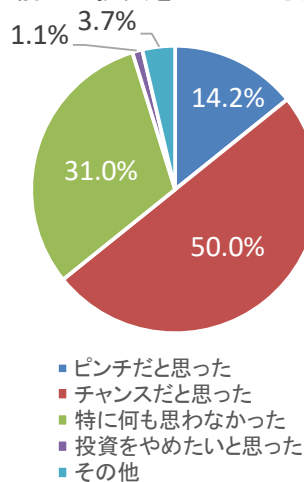
グラフ2-1: 2025年4月のマーケット急落を受けた率直な心情



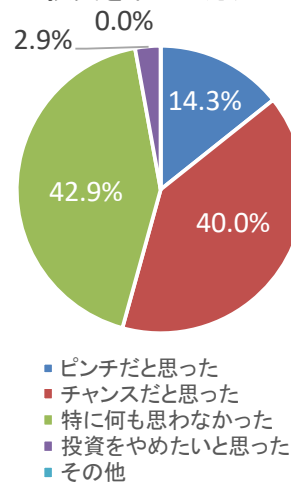
(出所) マネックス証券作成

(参考: 2024年9月調査) 2024年8月のマーケット急落を受けた率直な心情

(2023年以前から投資をしている方)



(2024年から投資を始めた方)



(出所) マネックス証券作成

マーケットの急落を受けた率直な心情としては「チャンスだと思った」という回答が最多で4割以上を占める結果となりました。

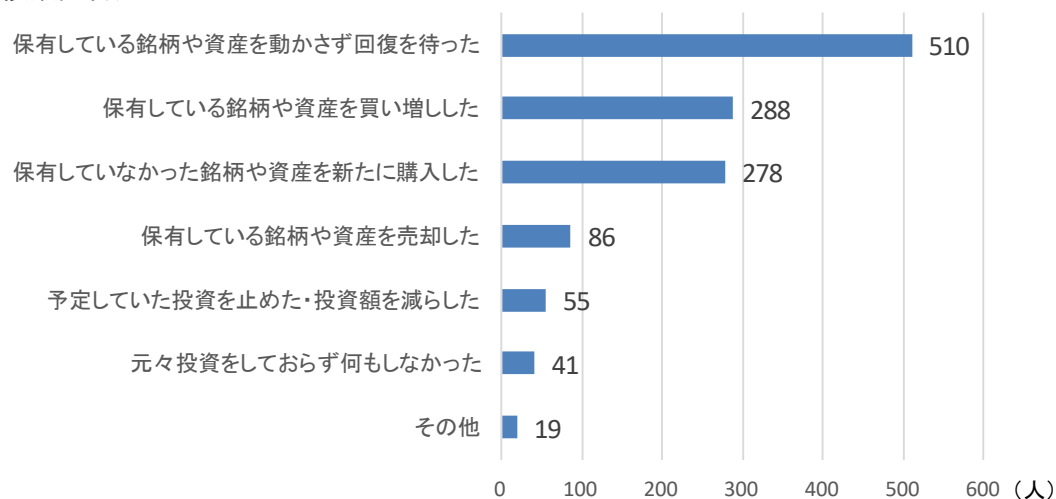
2024 年 9 月の調査でも 2023 年以前から投資をしている方の 50%、2024 年から投資を始めた方の 40%が「チャンスだと思った」と回答しています。

一方で「投資をやめたいと思った」という回答は今回調査でも 2024 年 9 月の調査でもわずか数%にとどまりました。

(2-2)2025 年 4 月のマーケット急落を受けた投資行動について

グラフ2-2：2025年4月のマーケット急落を受けた投資行動

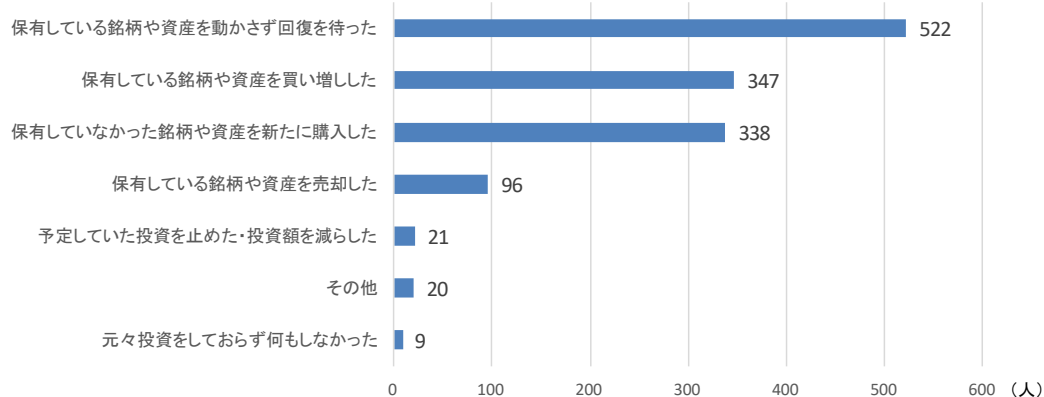
(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

(参考：2024年9月調査) 2024年8月のマーケット急落を受けた投資行動(2023年以前から投資をしている方)

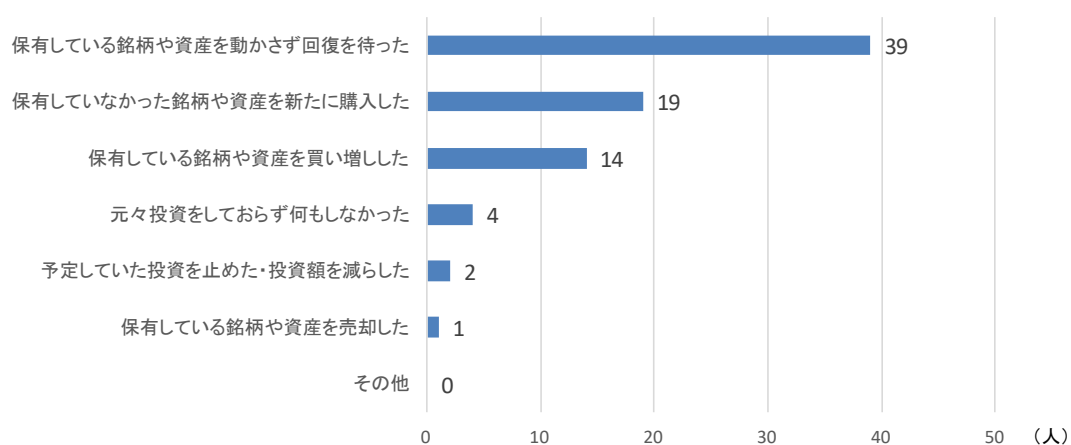
(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

(参考：2024年9月調査) 2024年8月のマーケット急落を受けた投資行動(2024年から投資を始めた方)

(複数回答)



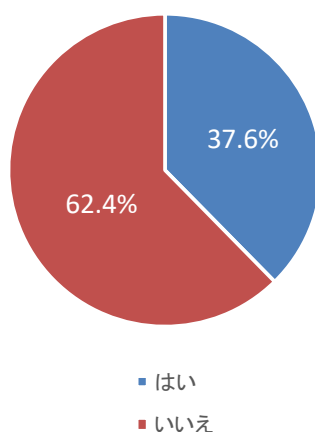
(出所) マネックス証券作成

マーケットの急落を受けてどのような投資行動を起こしたかをたずねたところ、「保有している銘柄や資産を動かさず回復を待った」という回答が最多となりました。

2024 年 9 月の調査でも同じ回答が最多となっており、マーケットが急落しても狼狽せずに回復を待とうとする冷静な姿勢がうかがえます。

(2-3) 2025 年 4 月のマーケット急落を受けた投資方針の見直しについて

グラフ2-3：2025年4月のマーケット急落を受けて投資方針を見直したか

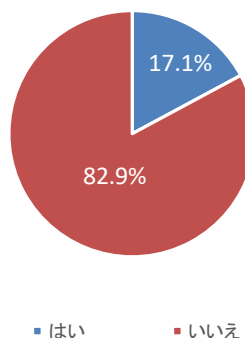
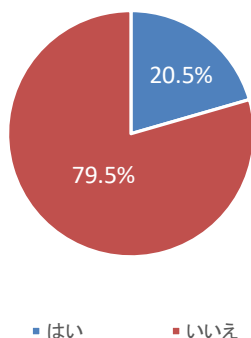


(出所) マネックス証券作成

(参考：2024年9月調査) 2024年8月のマーケット急落と急回復を受けて投資方針を見直したか

(2023年以前から投資をしている方)

(2024年から投資を始めた方)



(出所) マネックス証券作成

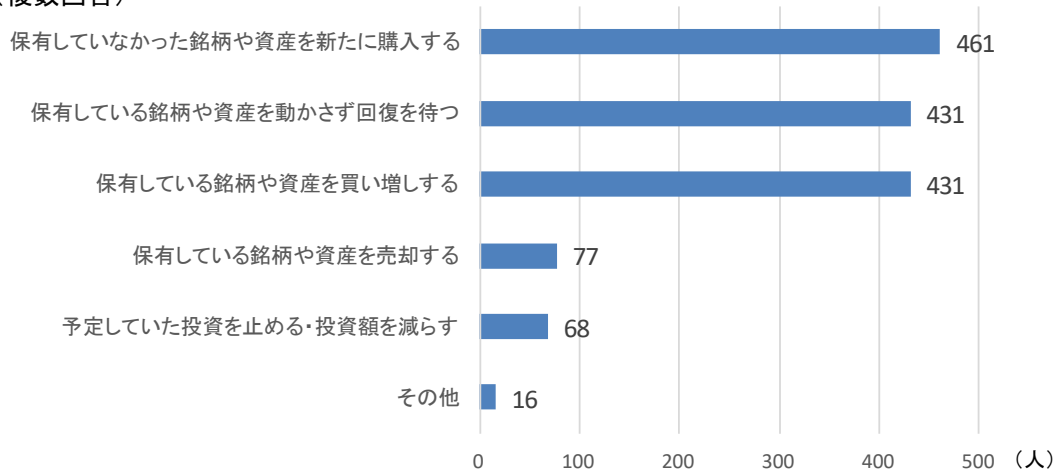
マーケットの急落を受けて投資方針を見直したかをたずねたところ「いいえ」という回答が 62.4%で優勢でした。

2024 年 9 月の調査でも「いいえ」が優勢でしたが、その割合は 2023 年以前から投資をしている方の 79.5%、2024 年から投資を始めた方の 82.9%となっており、今回の調査では割合がやや縮小しています。

(2-4)今後マーケットが急落した場合の投資行動について

グラフ2-4: 今後マーケットが急落したらどのような投資行動を起こすか

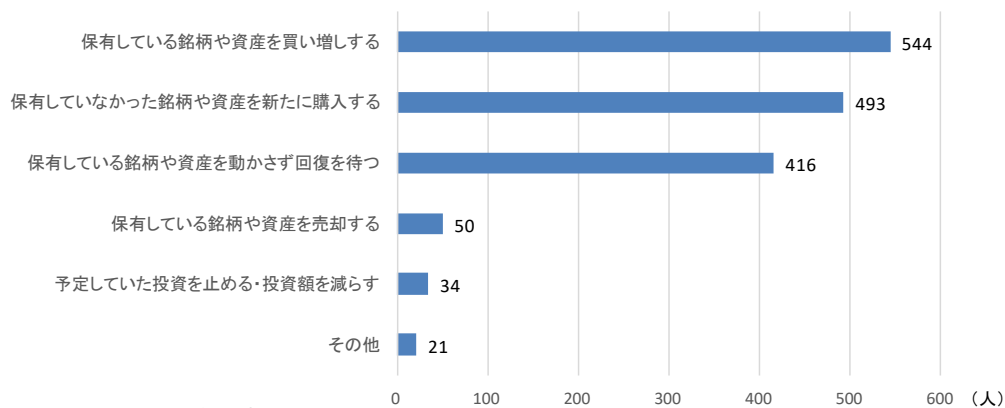
(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

(参考: 2024年9月調査) 今後マーケットが急落した場合の投資行動 (2023年以前から投資をしている方)

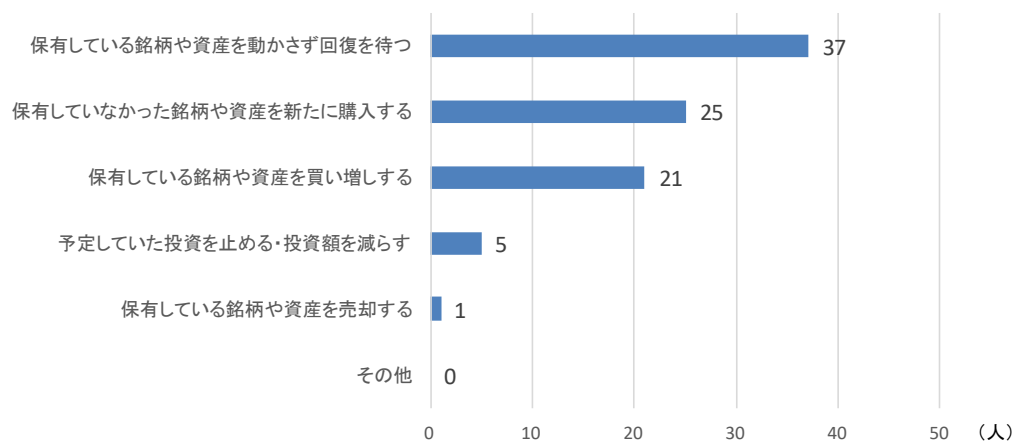
(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

(参考: 2024年9月調査) 今後マーケットが急落した場合の投資行動 (2024年から投資を始めた方)

(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

今後マーケットが急落した場合の投資行動については「保有していなかった銘柄や資産を新たに購入する」が最多となりました。

2024年9月の調査で最も多かった回答は2023年以前から投資をしている方では「保有している銘柄や資産を買い増しする」、2024年から投資を始めた方では「保有している銘柄や資産を動かさず回復を待つ」でした。

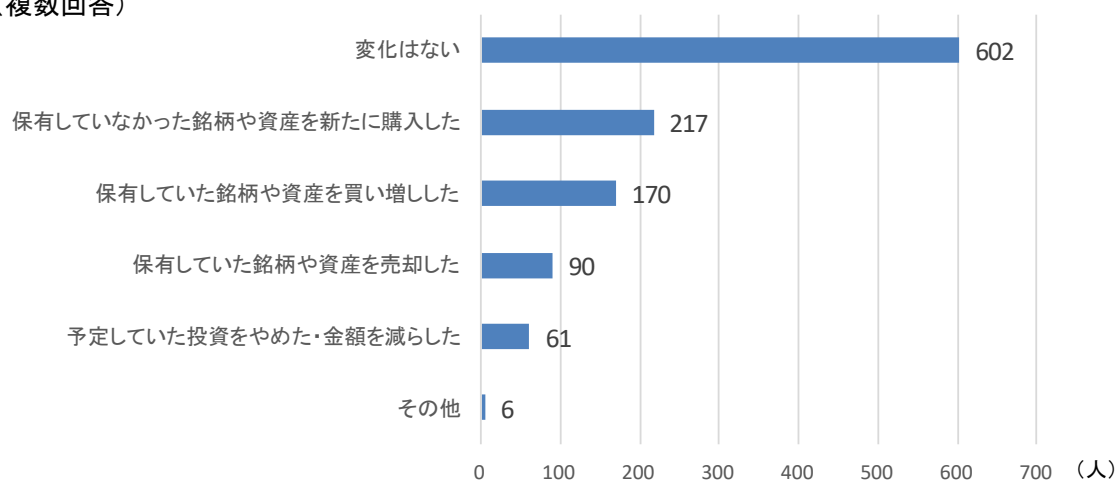
3. 日本国内の物価上昇と投資への影響について

物価上昇が話題となっている中、投資金額や家計にどのような変化があったかをたずねました。

(3-1) 物価上昇を受けた投資金額や保有資産の変化について

グラフ3-1: 物価上昇を受けて投資金額や保有資産はどう変化したか

(複数回答)



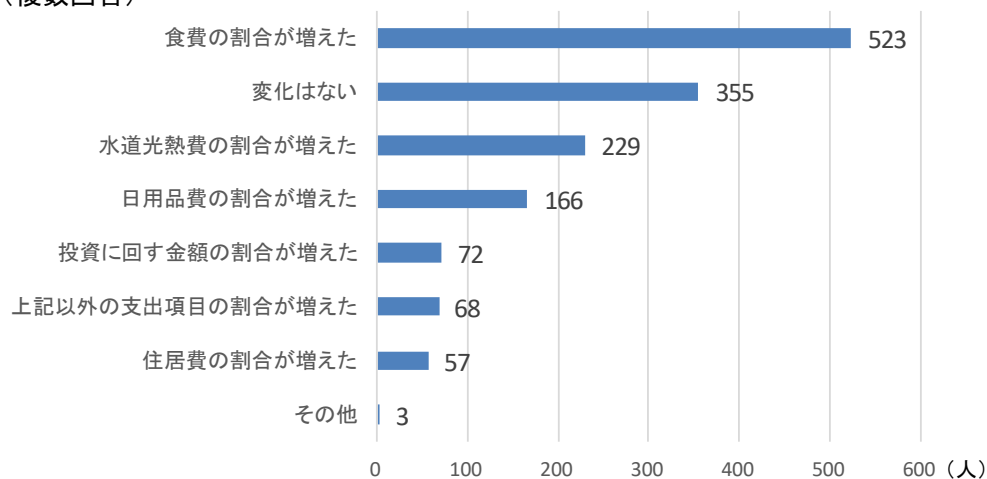
(出所) マネックス証券作成

物価上昇を受けた投資金額や保有資産の変化については「変化はない」という回答が圧倒的に多数となりました。「保有していなかった銘柄や資産を新たに購入した」や「保有していた銘柄や資産を買い増した」という回答も一定数あり、インフレ対策の一環として投資を行っている様子が見えられます。

(3-2)家計の支出割合の変化について

グラフ3-2：直近3ヶ月程度で家計の支出割合はどう変化したか

(複数回答)

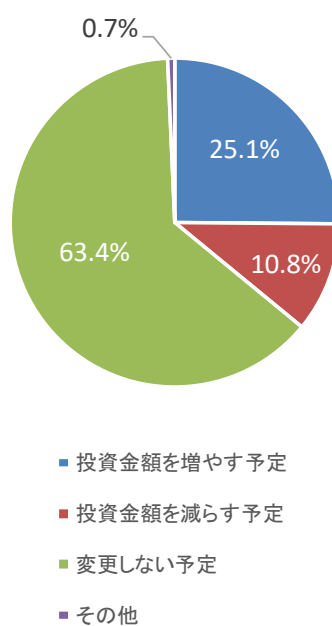


(出所) マネックス証券作成

直近 3 ヶ月程度で家計の支出割合にどのような変化があったかをたずねたところ「食費の割合が増えた」が最多となりました。コメ価格上昇を始めとしてニュース等で物価上昇が報じられていますが、「変化はない」という回答が 2 番目に多い結果となりました。

(3-3)今後物価がさらに上昇した場合の投資金額について

グラフ3-3：今後物価がさらに上昇したら投資金額をどう変更するか



(出所) マネックス証券作成

今後物価がさらに上昇した場合の投資金額については「変更しない予定」という回答が最多で 63.4%となりました。「投資金額を減らす予定」という回答は 1 割程度にとどまりました。

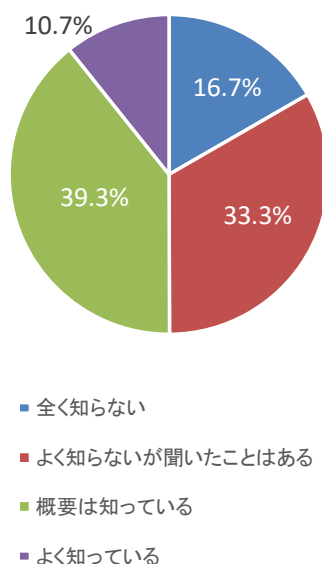
4. アクティビストの認知度やイメージについて

マネックス証券の創業者 松本大が運用に関わる投資信託「マネックス・アクティビスト・ファンド」が設定来高値圏で推移しているなか、アクティビストの認知度やアクティビストの提言に対するイメージを調査しました。

(マネックス・アクティビスト・ファンドについて、詳細は特設サイトをご確認ください
<https://info.monex.co.jp/feature/activistfund/index.html>)

(4-1)アクティビストの認知度について

グラフ4-1:「アクティビスト」という言葉を知っているか



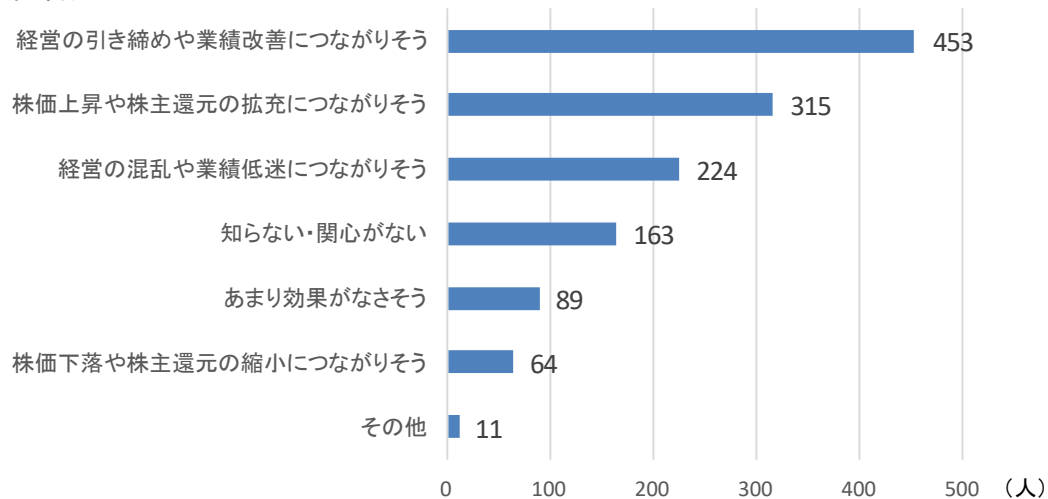
(出所) マネックス証券作成

「アクティビスト」という言葉を知っているかをたずねたところ「概要は知っている」が最多で 39.3%、次いで「よく知らないが聞いたことはある」が 33.3%となりました。一方で「全く知らない」という方も 16.7%と一定数いることが分かりました。

(4-2)アクティビストの提言や提案に対するイメージについて

グラフ4-2:アクティビストの提言や提案に対してどんなイメージを持っているか

(複数回答)



(出所)マネックス証券作成

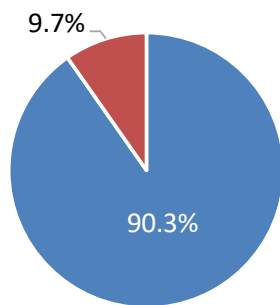
アクティビストの提言や提案に対するイメージについては「経営の引き締めや業績改善につながりそう」が最多で「株価上昇や株主還元の拡充につながりそう」が続く結果となりました。以前は「ハゲタカ」と呼ばれるなどネガティブなイメージもありましたが、最近は好意的なイメージを持つ方が増えてきているようです。

5. NISA 口座の利用状況

2024 年からスタートした新しい NISA 制度（以降「NISA」といいます）について、NISA 口座の利用状況や投資金額を調査しました。

(5-1) NISA 口座の開設状況と利用状況について

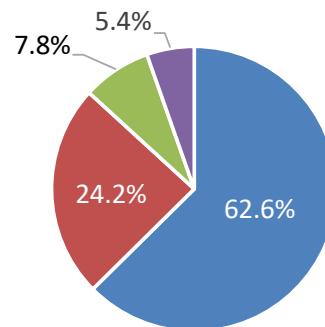
グラフ5-1：NISA口座開設状況



■ 開設している ■ 開設していない

(出所) マネックス証券作成

グラフ5-2：NISA口座利用状況



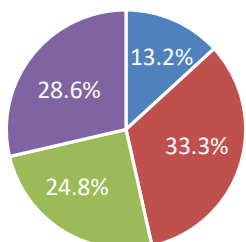
■ 成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した(している)
 ■ 成長投資枠のみを利用して投資した(している)
 ■ つみたて投資枠のみを利用して投資した(している)
 ■ NISA口座を利用した投資はしていない

(出所) マネックス証券作成

NISA 口座の開設状況と利用状況について調査しました。9 割以上の方が NISA 口座を開設しており、そのうち 6 割以上の方が成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資していることが分かりました。

(5-2) 今年の成長投資枠での投資予定金額とすでに投資した金額について

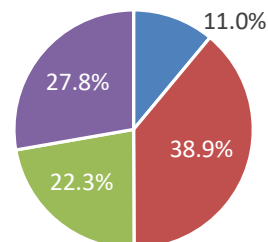
グラフ5-3：今年の成長投資枠での投資予定金額



■ 10万円未満
 ■ 10万円以上100万円未満
 ■ 100万円以上200万円未満
 ■ 200万円以上

(出所) マネックス証券作成

グラフ5-4：今年の成長投資枠ですでに投資した金額



■ 10万円未満
 ■ 10万円以上100万円未満
 ■ 100万円以上200万円未満
 ■ 200万円以上

(出所) マネックス証券作成

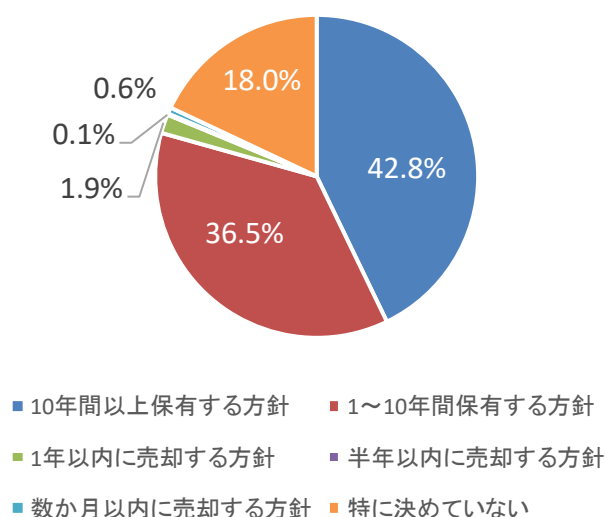
「成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した（している）」または「成長投資枠のみを利用して投資した（している）」と回答された方に今年の成長投資枠で投資する予定の金額とすでに投資した金額をたずねました。

投資予定金額については「10 万円以上 100 万円未満」と回答した方の割合が 33.3%で最多となりました。前回調査（2025 年 3 月）では成長投資枠の上限を含む「200 万円以上」と回答した方の割合が最多となっており、変化が見られました。

すでに投資した金額については「10 万円以上 100 万円未満」と回答した方の割合が 38.9%で最多となり、続いて「200 万円以上」が多く、27.8%となりました。

(5-3) 成長投資枠で保有している銘柄の保有方針について

グラフ5-5：成長投資枠で保有している銘柄の保有方針



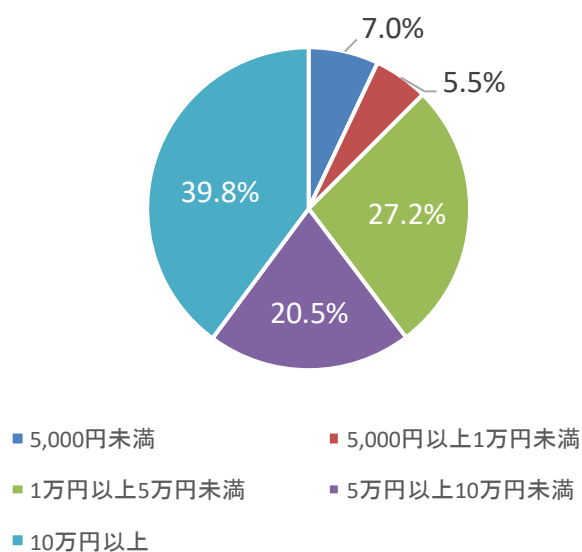
(出所) マネックス証券作成

「成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した（している）」または「成長投資枠のみを利用して投資した（している）」と回答された方に成長投資枠で保有している銘柄の保有方針をたずねました。

4 割以上の方が 10 年以上保有する方針であり、1 年以内またはそれより短期間のうちに売却する方針である方の割合はわずか数%程度であることが分かりました。

(5-4) つみたて投資枠での毎月の投資金額について

グラフ5-6： つみたて投資枠での毎月の投資金額



(出所) マネックス証券作成

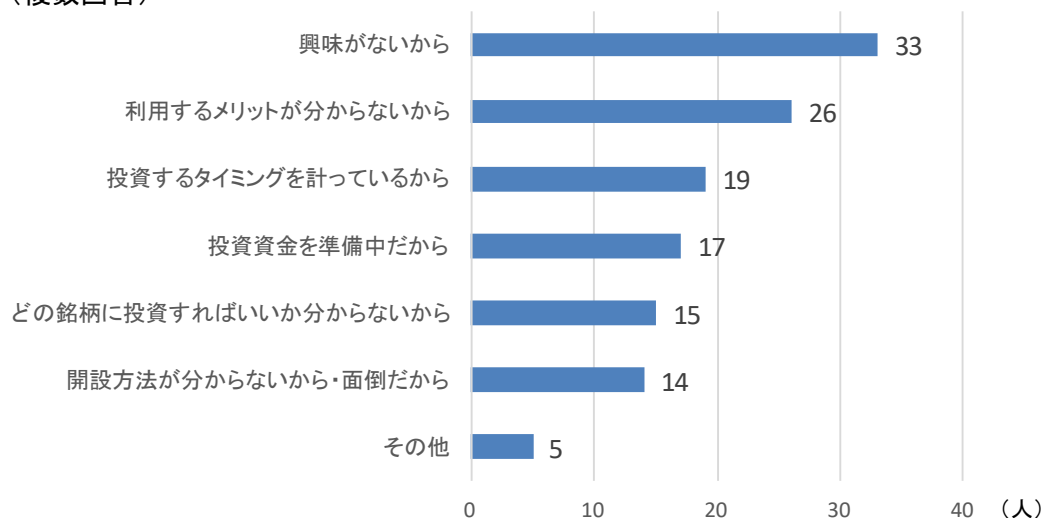
「成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した（している）」または「つみたて投資枠のみを利用して投資した（している）」と回答された方につみたて投資枠での毎月の投資金額をたずねました。

「10 万円以上」という回答が最多で 39.8%となり、続いて「1 万円以上 5 万円未満」が多く 27.2%となりました。合計で 9 割近い方が毎月 1 万円以上を投資していることが分かりました。

(5-5) NISA 口座を開設していない理由について

グラフ5-7：NISA口座を開設していない理由

(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

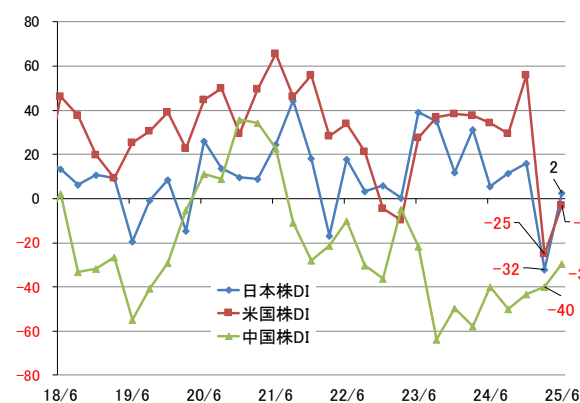
「NISA 口座を開設していない」と回答された方にその理由をたずねました。

「興味がないから」という回答が最多となりました。一方で「どの銘柄に投資すればいいかわからないから」「開設方法がわからないから・面倒だから」という回答も一定数あり、当社としては投資情報や NISA 制度のメリットについての情報発信をより一層強化していきたい所存です。

6. 日本、米国、中国の株式市場に対する見通しについて

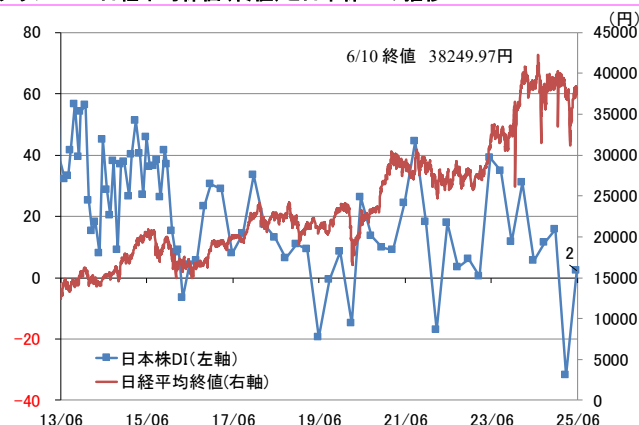
個人投資家の相場観の調査として、今後 3 ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する見通しを調査しました。

グラフ6-1: 今後3か月程度の株式市場見通し



(出所) マネックス証券作成

グラフ6-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



(出所) マネックス証券作成

今後 3 ヶ月程度の各国の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本・米国・中国すべてにおいて改善しました。

【日本株 DI】(2025 年 3 月) -32 → (2025 年 6 月) 2 (前回比 +34 ポイント)

【米国株 DI】(2025 年 3 月) -25 → (2025 年 6 月) -3 (前回比 +22 ポイント)

【中国株 DI】(2025 年 3 月) -40 → (2025 年 6 月) -30 (前回比 +10 ポイント)

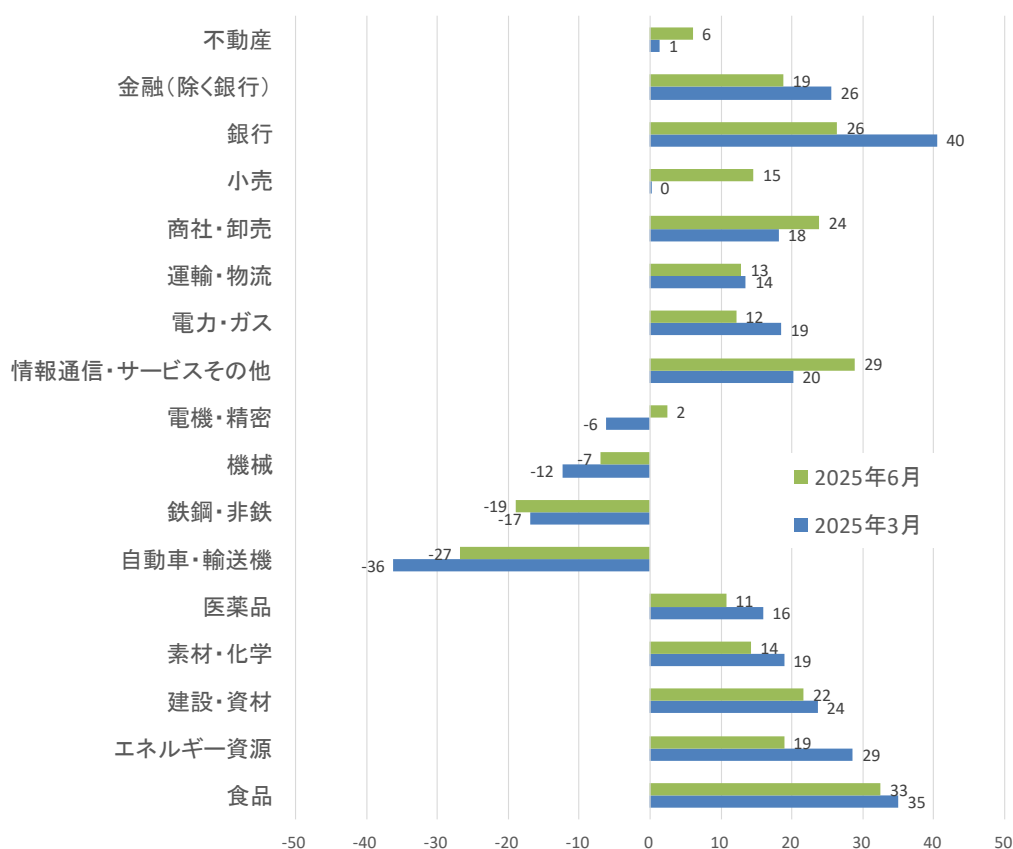
※ DI : DI とは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイントです。DI がプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DI がマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

7. 日米セクター別業況 DI

日本と米国の各セクターについて、それぞれ今後 3 か月程度で「上昇すると思う」「変わらないと思う」「下落すると思う」のいずれになるかをたずね、「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイントを業況 DI として集計しました。

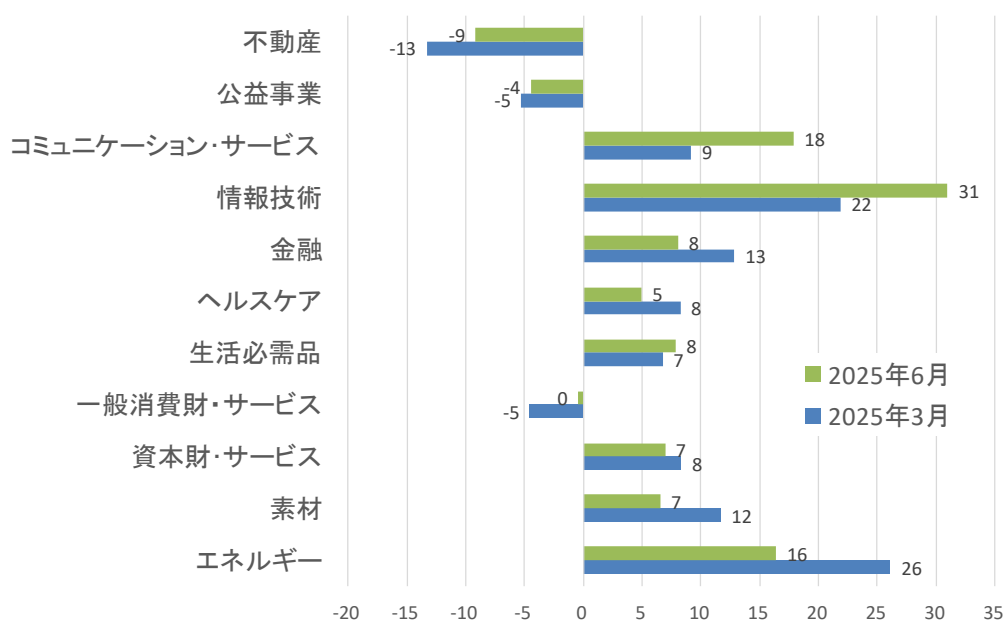
なお、日本のセクターは株価指数 TOPIX-17 の分類を、米国のセクターは世界産業分類基準 (GICS) の分類をそれぞれ参考としています。

(7-1)日本のセクター別業況DIは「食品」が最高、「自動車・輸送機」が最低
グラフ7-1: 今後3か月程度の日本のセクター別業況DI



(出所) マネックス証券

(7-2)米国のセクター別業況DIは「情報技術」が最高、「不動産」が最低
グラフ7-2: 今後3か月程度の米国のセクター別業況DI



(出所) マネックス証券

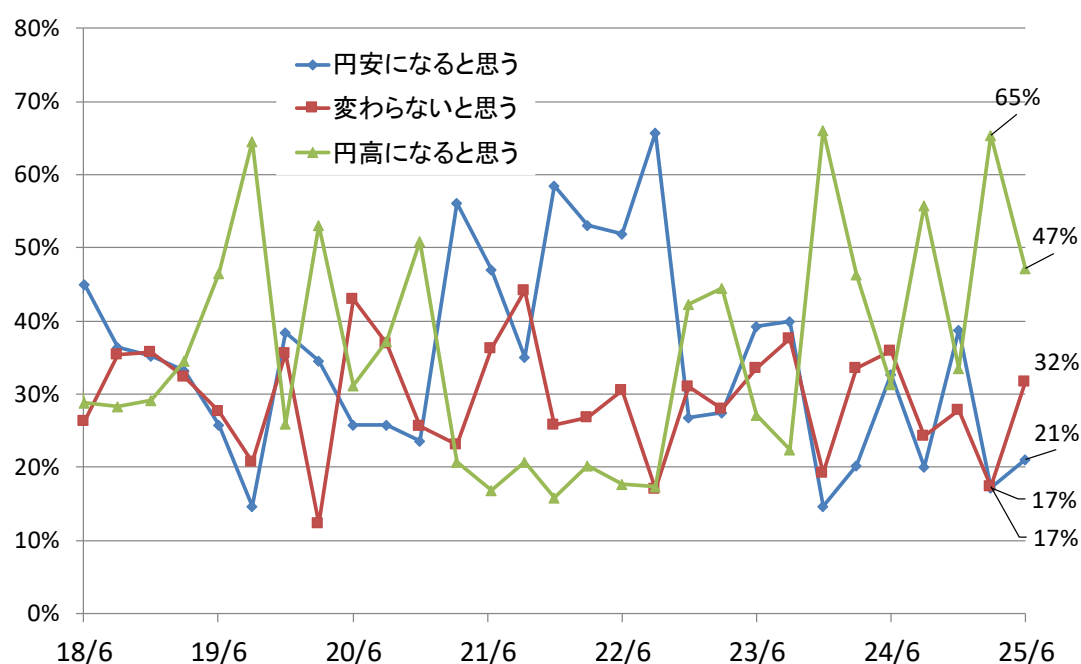
今後 3 か月程度の日本のセクター別業況 DI は「食品」が 33 で最高、「自動車・輸送機」が-27 で最低でした。前回調査（2025 年 3 月）でも「自動車・輸送機」は最低となっており、依然として厳しい見方が続いているようです。

今後 3 か月程度の米国のセクター別業況 DI は「情報技術」が 31 で最高、「不動産」が-9 で最低となりました。前回調査（2025 年 3 月）で 9 だった「コミュニケーション・サービス」は今回調査では 18 となっており、2 番目に大きい値となっています。

8. 為替相場について

個人投資家の相場観の調査として、今後 3 ヶ月程度の米ドル／円相場に対する見通しを調査しました。

グラフ8-1: 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想



(出所) マネックス証券

今後 3 ヶ月程度の米ドル／円相場に対する個人投資家の見通しは、「円高になると思う」が前回比-18%と大きく減少して 47%となりました。

【円安になると思う】(2025 年 3 月) 17% → (2025 年 6 月) 21% (前回比 +4%)

【変わらないと思う】(2025 年 3 月) 17% → (2025 年 6 月) 32% (前回比 +15%)

【円高になると思う】(2025 年 3 月) 65% → (2025 年 6 月) 47% (前回比 -18%)

以 上

添付：MONEX 個人投資家サーベイ 2025 年 6 月調査

【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会